



# 西中だより

第9号 令和5年6月22日(木)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心と たくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

## 市総合体育大会終わる

### あきらめず全力で戦う姿があちこちで見られました

今週の16日(金)、17日(土)に市の総合体育大会が行われました。各部の結果は、以下の通りですが、私が見たり、顧問の先生から聞いた様子では、どの部も最後まであきらめず戦った様子がうかがえました。また、試合でのプレイに限らず、大会運営の補助などでも頑張る姿があちこちの会場で見られました。



城南中会場で行われた男子ソフトテニス  
炎天下での全力プレイと応援

部活名	日時
陸上	共通：100mH1位 高橋由宇、1500m2位 日野原稜、3000m2位 日野原稜、200m3位 岩井大智、砲丸投3位 門元優歩 2年：100mH1位 小田切心晴、100mH2位 西中山萌衣、100m3位 乙黒陽斗、100m3位 植松心愛 女子総合3位
バレーボール	●西0-2城南、●西0-2東
バスケットボール男	2回戦西○115-23北西、準決勝○西57-39城南、決勝○西75-44上条 優勝
バスケットボール女	1回戦○西66-22北西○、2回戦●西26-80富竹、3回戦●西49-71南
サッカー	予選リーグ ●西0-2南、2位トーナメント○西0-0城南(PK4-2)○ 決勝 ●西1-5駿台 準優勝
野球	パート決勝 ●西5-7南 第2位
ソフトテニス男	Aチーム 1回戦○西3-0東、2回戦●西1-2笹南、5位決定戦 ○西2-1南、西○2-0附属 第5位 Bチーム 準決勝 ○西2-1北西、決勝 ○西2-0北東 第1位
ソフトテニス女	Aチーム 2回戦○西2-1北、準決勝●西1-2上条 第3位、 Bチーム 1回戦●西1-2南
バドミントン男子	団体：予選リーグ ●0-3城南、○西3-0北東、●西1-2北 予選リーグ敗退
バドミントン女子	団体：予選リーグ ○西2-1南西、○西3-0東、○西2-1北、準決勝○西2-0城南 決勝●0-3笹南 第2位
テニス	男子シングルス ベスト8 井上倅生
水泳	3年男子：200m自由形2位 西口拓輝、200m個人メドレー3位 西口拓輝 3年女子：50m自由形1位 平林華、100mバタフライ1位 平林華 1年男子：100m背泳ぎ1位 今井蔵都
柔道	女子個人戦3位 志村夏帆
剣道	女子個人ベスト8 葛西萌々花、男子個人ベスト8 大澤颯真・下川楽人、男子団体A・Bとも1回戦敗退
体操	男子個人総合1位 村松真尋
空手	個人組手 第3位 保坂歩果

※フォントの関係で、個人名掲載の一部生徒については正式な漢字が充てられていない例がありますがご容赦ください

## 全ての部が県総合体育大会へ

今大会より、県小中学校体育連盟の方針で、一部の競技(ソフトテニス、野球、バスケットボール)を除いて、県総合体育大会はオープン参加となり、地区予選(甲府市の場合は、市総合体育大会)で上位入賞できなくても出場できるようになりました。

一方、ソフトテニスと野球、バスケットボールは市総体で一定の成績を収めないと県総合体育大会には出場できなかったのですが、本校のソフトテニス男女、バスケットボール男女、野球の各部は県総体への出場権を得ることができました。

## 「負け」から学ぶ・・・“負け”に不思議の“負け”なし

本校では、上記の通り、全ての部が県総合体育大会に出場できるようになりましたが、市優勝を果たした男子バスケットボール以外は、今回の市総体で、どの部も1回は「負け」を経験しました。無敗で優勝した男子バスケットボール部の活躍を称えるとともに、負けた部は、「負け」から学んでほしいと思います。野球の名捕手、名監督であった野村克也さんは、監督時代に、「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」という言葉を残しています。意味は「勝ちには、時に、『まさか勝つとは』という不思議な勝ちもあるが、負けるときには、必ず、負ける理由がある。」というもので、負けたときこそ、その負けを分析し、次につなげることが大事であるということを教えてくれています。幸い、全ての部が県総体に出られますので、それぞれが「負け」を分析し、次の勝利につなげてほしいと思います。